

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsってなに？

知っていますか？SDGs

エス・ディー・ジーズ

2015年9月、国連総会において加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発目標」のことをいいます。2030年までに誰一人として取り残すことなく、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等や気候変動などの問題解決に向け取り組もうというものです。そのために掲げられた具体的な17項目の目標達成に向け、世界各国や企業がさまざまに取り組んでいます。私たちもその仲間の一人であり、考え、行動することが求められています。

SDGsと人権

SDGsの目標を見ると、人が幸せに生きるために当たり前のことが書かれているように思えます。

しかし世界には、この当たり前のことすらままならない現状があり、日本においても部落差別や性的少数者の人権問題、

女性差別などさまざまな人権課題があります。「誰一人として取り残さない」というSDGsの理念にもあるように、その目標は人権（11人が幸せに生きる権利）が尊重される社会の実現です。

子どもたちを地域で見守り、育てる文化を広げようと、食と学習の支援に取り組む下川さんに話を伺いました。

チャイルドサポートネット  
ワーク代表 下川京子さん  
〈主役は私たち〉

4年前、手探りで始めた子ども食堂・学習支援には、高齢者や障がい者、小・中・高校生のほか、たくさんの方が参加してくれています。そして多様な価値観を持つ人が生きがいを持ち集う楽しい場になりました。高校生がたくさんのおとなと出会い刺激を受け、進路選択の幅を広げるといいうれしい出来事もありました。また子ども食堂で提供する食材は、フードバンクやご厚意等でいただいております。

子どもたちのために始めた活動が、皆さん一人一人の行動によって、地域の課題解決や、SDGsの目標とも重なる取り組み

みに育っており、私たちがSDGsの主役であることを実感しています。

〈子どもたちへ、世界の動きに関心を持つ〉

普段から意識しなければ、自分と世界とのつながりを感じることが少ないと思います。しかし日本は食糧の多くを輸入に頼る一方、一人あたりの使い捨てプラスチックごみ排出量は世界第2位(※)で、そのうちリサイクルできる物の一部を輸出し、他国の環境に影響を及ぼしています。また安い商品の裏には、児童労働や劣悪な労働環境などの問題が隠されているかもしれません。

さまざまな問題に関心を持ち、自分とのつながりを意識して生活することで意識が広がります。そうして養った判断力や行動力は、あなたの一生の財産になるはず。そして自分たちの手で未来を拓いてほしいと思います。

もちろん私たちおとなも、子どもや孫など次の世代に、人権が尊重され、持続可能で幸せな社会を作り、残す責任があります。私たち一人一人ができることから始めましょう。

(※2018年6月国連環境計画調べ)